

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	3
事業名	文化振興諸経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援			
主要施策	①芸術・文化団体、指導者の育成				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する事業を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	公民館講座受講者数	218	266	215	人	↑	300	
2									
3									
4									
5									
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			9,102		9,834		9,321		
財源内訳	直接事業費A		6,066		6,798		6,285		
	うち一般財源		5,947		6,762		6,233		
人件費（千円）B			3,036		3,036		3,036		
内訳	一般職員（人・千円）		0.46		3036		0.46		3036
	臨時職員（人・千円）		0		0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	マンネリ化を防止し、時代や地域のニーズに即した講座の開設を進める。	③取組の課題	コロナ禍での受講への躊躇を払拭するために必要な対策を講じる必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	QRコードを用いた申込方法を新設したことで、気軽に応募ができる仕組みが構築された。（既存のはがきでの申し込みも継続）	④今後の改善計画	「公民館講座」を受講し易いように回数を減らすなど、新規受講者の懸け橋となるように取り組む。